

## カナダからの手紙。

～ラブレター スпамレター フロム カナダ～

### エアメール、はじめて見た喜び

エアメールを私のはじめて見たのは、小学生の頃だったと記憶しています。

親戚が海外から送ってくれたものです。

薄っぺらな紙に、訳のわからない切手。

普通と違うこと、そして、これが飛行機を乗ってきたということ、エアメールは小学生の私にとって、神秘的なものでした。

### 毎朝の日課。大量のエア E-mail を削除すること。

そんな私が将来、海外からのメールをゴミ箱に捨てまくる、というのは夢にも思いませんでした。

私が毎朝出社して、8時30分にすることは、大量に届く海外からのジャンクE-mailを削除することです。1日大体100通くらい、15分の作業です。

毎日15分、4日で1時間。1年365日で、91時間15分。

すごい時間です。本当に困ったものです。

### 日本のジャンクメールは海外より断然少ない

日本では、特定商取引法が平成14年に改正され、「未承諾広告」の表示が義務化されました。

当社では、メールツールを用意し、未承諾広告撃退機能をつけましたので、正しく「未承諾広告」が表示されていれば、自動で削除します。

特定商取引法を無視する業者もいますが、当社も含め訴訟も辞さない強硬な対応が功を奏しているのでしょうか、こういった業者は確実に減っています。

### ウィルスもジャンクメールも海外からやってくる！

誰も指摘をしていないようなのですが、ウィルスやジャンクメールが海外から入ってくる、これは海外からの攻撃、テロと同じではないでしょうか。

事実として、公共機関を含め、何箇所もウィルスでシステムダウンしています。それらはすべて海外から入ってきています。

日本人が作ったウィルス(=犯した罪)はないのです。

### 水際で防衛を

私は以前より、これらの対策として、水際での防衛をすべきだと考えています。

太平洋の海底光ケーブルは、茨城県の霞ヶ浦と、三重県の阿児に繋がっています。

ここのルータでウィルスもジャンクメールもすべて削除してしま

えばいいのです。

海外とのデータ送受信は若干遅くなるでしょうが、国内にウィルスがばらまかれたり、ジャンクメールを全国民が毎日削除することに比べたら、どんなにいいことかと思えます。

### これで解決

そうなると、国内ではウィルス対策ソフトを購入する必要がなくなりますし、企業も対策費用が減少します。そこで、各企業は保有するIPアドレス数に応じて、お金を払うのです。

そのお金で政府がウィルス対策会社を使って、ウィルス及びジャンクメール対策をさせるのです。

この方法にはまた、すばらしい副作用があります。

それは、保有するIPアドレスに応じての負担とすることで、IPアドレスをたくさん保有して使っていない所が、IPアドレス返却をする、ということなのです。

ウィルスがなくなり、ジャンクメールもなくなり、国民はウィルスソフト購入の必要がなくなり、ジャンクメール対策が不要となり、IPアドレスが有効活用できる方法です。

すごくいいアイデアだと思いますが、いかがでしょう。

無駄とは思いながら、総務省に意見としてメールいたしました。